

甘楽町一北区

自然休暇村交流事業

第1陣は
32人来町

学童疎開者が訪問



▲ 紅葉山で記念植樹を行う北区民（学童疎開者）

40年ぶりに旧交温む

東京都北区の自然休暇村交流事業の「旅行地」に選ばれた本町に五月十八日、戦時中、小幡に学童疎開していた区民（当時、王子区立第一尚志国民学校の五、六年生）三十二人が訪れ、疎開先の住職やお世話になった養母さんたちと旧交を温めました。

一行は十八日夕、小幡の「出陣し、まず田村町長が「一寸軒」で開かれた交流会に、なごみを心から歓迎します」

とあいさつを述べ、続いて参加者全員の自己紹介が行われました。参加者の中には、四十年ぶりに訪れたという人もいて、当時は思い起こしながら昔話に花を咲かせていました。

一行はこの後、疎開先だった町内の民家や福徳寺、長徳寺、興徳寺、宝積寺の四つのお寺に宿泊したり、訪問し、久方ぶりに第二の我が家（ふる里）の夜を楽しみました。

十九日は、武家屋敷や織田公の墓、那須のこいのぼりの里などを見物した後、再訪記念にと、思い出深い善慶寺の紅葉山で記念植樹を行い、次の訪問を楽しみにしている様子でした。

自然休暇村交流事業は、北区民に本町の豊かな自然環境の中で、スポーツやレクリエーションを通じて人間性を回復してもらおうと本年度（四月二十二日に開印）からスタートしたもので、今回の交流はその第一陣。次回は、七月二十九日から三日間、親子の交流（緑化教室や農業体験等）を計画しています。

五月二十日、二十八日には、田村町長や町議会議員らが、北区を表敬訪問し、親ぼくを深めてきました。

疎開当時の

出来事

昭和19年〜20年

19年

7月7日 サイパン島の日本軍守備隊全滅

10月25日

神風特別攻撃隊等の特攻開始

* *

アメリカのB29爆撃機初めて島内米撃

* *

東京都の学童疎開受け入れ

* *

小幡農学校廃止

20年

富岡移転1船文甘楽農業学校となる

3月17日

硫黄島の日本軍全滅

4月1日

米軍沖繩に上陸

8月6日

広島に原子爆弾投下（9日長崎）

* *

米軍機による前橋・高崎・伊勢崎空襲

* *

六月、仙台の青六部隊小幡小学校に駐屯

8月15日

引きあげ

ポツダム宣言

結により戦争終